

地球環境憲章 基本方針

法規制の遵守と社会的責任の遂行

環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行する。

環境負荷の低減

温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙などの省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努める。

環境マネジメントシステムの確立と維持

各事業所は、環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護活動に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進する。

地球環境憲章 基本方針

環境技術の開発

マルチメディアサービス等の研究開発により環境負荷低減に貢献する。

社会支援等による貢献

地域住民、行政等と連携した、日常的な環境保護活動への支援に努める。

環境情報の公開

環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図る。

内容

2001年度、グループのトピックス

グループ会社の主なトピックス

NTT(持株会社)では、国内外の環境をめぐる法律や規制などの情報をキャッチ、分析し、課題別委員会と連携し、いち早い対応を準備。環境関連の法律は、公布された当日中に情報を得て、グループ各社の環境担当に法律の抄録を周知。情報流通企業としての特性を活かし、企業市民として社会的責任を果たす。

NTTグループは、「グリーン調達」「グリーンR&D」「建物グリーン設計」の3つのガイドラインを設け、このガイドラインに則り、事業の環境負荷低減を図る。重要な環境側面に対応した課題別委員会、ワーキンググループを設置。〔長期(2010年)の目標〕紙資源削減/純正パルプ使用量を1990年の20%以上を削減。温暖化防止/CO2排出量を1990年レベル以下へ。廃棄物削減/廃棄量を1990年レベルの85%以上を削減。

NTTグループは、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムの構築を推進。各事業所は、それぞれに適応した環境マネジメントを構築し運用。リスクマネジメントについては、環境負荷を日常的に低減することを第一に努め、予期しない環境への影響が大きな出来事に直面しても、常にベストな対応が取れるよう準備。そうした活動によって得られた環境保全効果(物量効果、経済効果)を定量的に把握し、環境経営に活かしていくために2000年度から環境会計を導入。

罰金・科料なし 環境関係の法規制に関して行政による注意1件。なお、改善命令、罰金・科料はありません。出捐の実施 経団連から要請があった「産業廃棄物不法投棄原状回復基金」に出捐。「地球憲章」の支持を表明。2002年1月30日に「持続可能な開発に関する世界サミット」(2002年8月、ヨハネスブルグで開催)での採択を支援するために「地球憲章」の支持を表明。環境情報共有システムの構築 環境情報共有システムを構築し、グループ各社環境担当の環境情報の共有化に活用。

紙資源削減 純正パルプの使用量は、1990年度の約50%削減。電話帳の紙使用量は12万トン。前年比19%削減。古電話帳回収量は6.2万トン。前年比6.9%増加。温暖化防止 CO2の総排出量は1990年度に比べ55%増加。ただし環境効率性(売上高/排出量)は4.47百万円/t-CO2となり、1990年より20%向上。このうち、NTTグループ内に設置されたお客様設備(データセンターなど)のエネルギー消費に起因する分は、2.6万t-CO2。なお、CO2以外の温暖化ガスの排出量は、1万t-CO2。廃棄物削減 廃棄量は14万トンで、1990年度の約71%削減。省エネルギー設備の開発 直流電源システム 交流電源システムに比べ、変換ロスと大幅に改善した電源システム。【P13】クリーンエネルギー施設数 太陽光発電 90台 風力発電 1台 燃料電池 7台 【P13】ハイブリッド(太陽光/風力)7台 低公害車の台数 ハイブリッド車 288台 天然ガス自動車 223台 電気自動車 17台

リスクマネジメントの実施 PCBは適正保管に努め、処理は国主導の広域処理に委ねることを決定。【P11】環境会計の実施 環境省の「環境会計ガイドライン2002年版」に準拠した「NTTグループ環境会計ガイドライン2002年版」を作成し、集計。なお、環境保全コストは、投資が141億円、費用が366億円。【P12】勉強会の実施 環境コンサル等支援協力プロジェクトの一環としてNTTグループ各社の環境担当者に対する勉強会を東京と大阪で実施。【P11】環境情報DBシステムの導入 グループ各社の温室効果ガス排出量を集計。

従来から実施している自主点検を強化するとともに、下水道法の基準値の突発的な超過に対し、防止対策を実施(NTT情報流通基盤総合研究所) 自主的な土壌調査によって発見された駐車場の土壌汚染に対し、汚染土壌除去工事の実施を決定(NTT都市開発)

ハローページの発行見直し(NTT東日本、NTT西日本) 電話帳クロードルーブリサイクルの構築(NTT東日本、NTT西日本、NTT番号情報) インターネットで電話料金確認サービス(NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ)【P15】

ISO14001を新たに21サイトが取得。2002年3月末現在、NTTグループ全体で55社73サイトが取得。

「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」では、「最先端の環境技術の研究開発」を3本柱の一つにあげている。地球温暖化防止技術から廃棄物リサイクル技術、ITを活用した環境負荷低減技術まで幅広い領域で環境保全技術を研究開発。

「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」では、「環境保護における地域貢献」を3本柱の一つにあげている。この方針に基づき2001年度も各地域において積極的な環境保全活動を実施。

NTTグループでは、環境保護活動報告書(ウェブ版・冊子版)を始めとして、環境関連情報を公開。グループ各社においても環境関連情報をホームページで公開(55社)し、社内外とのコミュニケーションを図る。また、2001年度はNTTグループが提言する「エココミュニケーション」の考え方を広く普及するための広告活動を展開。

ライフサイクルアセスメント(LCA)の実施 市内電話サービスの環境負荷を評価。(NTT生活環境研究所/NTT東日本)【P4】 廃光ケーブルリサイクルシステムの実現 光ケーブルの再生利用、建築素材などへの再活用。(NTTアクセスサービスシステム研究所)【P14】 プラスチック判別器の開発 約95%の精度でプラスチック類を判別。(NTT生活環境研究所)【P14】 PRTR-GISシステム、道路環境評価システムの開発 地理情報システム(GIS)を用いて地図上でグラフィカルに集計分析できる自治体向けのPRTRデータ管理、集計システムと、道路で発生した騒音の影響を評価するシステム。(NTT生活環境研究所)【P15】 無排土高速モグラロボットの開発 地中の土を外に出さずに穴を掘ることができるロボット掘削機。(NTTアクセスサービスシステム研究所)【P14】 ネットワーク配信サービスの開発 多種多様なコンテンツをオンラインで配信する技術。(NTTサイバーコミュニケーション総合研究所)【P16】 デジタルテストの開発 クライアントサーバ方式によるテストのシステム。(NTTサイバーコミュニケーション総合研究所)【P16】 電子投票システムの開発 インターネットによる投票システム。(NTT情報流通プラットフォーム研究所)【P16】

国内団体と連携 グリーン購入ネットワーク(GPN)(財)地球・人間環境フォーラム(社)日本環境教育フォーラム ゼロエミッションフォーラム 地球環境行動会議(GEA) 持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD) エコロジー・コミュニティ・プラザ NTT東日本岩手支店、青森支店、NTT西日本滋賀支店などが自治体、NPOなどと協働して地域に密着した多様な環境保護活動を展開する目的で、エコロジー・コミュニティ・プラザを展開。【P8】 NTT西日本環境クリーン作戦2001in滋賀 琵琶湖の清掃ボランティア活動を実施。【P8】 びわこNPOネットワーク 環境市民団体、NPOの活動を活性化するためのウェブサイトの立ち上げ。【P17】 環境情報の共有化に向けたワークショップ 岩手県内の4地区を結び環境教育討論。【P8】 社員の意識調査 社員約1,000人を対象に環境意識調査を実施。環境に関する関心は...95% 地域の貢献活動に参加したいと言う人は...約90%【P18】

環境報告書の発行とホームページ公開 NTTグループ環境保護活動報告書2001(ウェブ版・冊子版)を発行。ホームページ上に「NTTグループ社員も『環境を、話そう』」コーナー、環境著名人によるウェブ対談『クロス・ストーリーキング・オン・ジ・アース』を公開。【P18】 環境広告の実施 環境保護活動を広く公開し、理解と参加を促すために、環境広告を展開。雑誌広告7誌 パナー広告8サイト【P18】 社外評価の調査 インターネットによる環境保護活動報告書に対する調査。環境情報公開を評価する...約90% 取組み姿勢を評価する...約85% もっと知りたい...約60%【P18】

多摩川流域リバーミュージアム(NTT-AT)【P15】 燃料改質装置・移動型汚泥処理車(NTTオートリース)【P13】 オゾン水発生装置(NTT-ME)【P14】 地滑り自動遠隔監視システム(NTT-ME中国)【P15】 環境モニタリング・コンソーシアム発足(NTTデータ、NTTドコモ、NTTドコモ関西、NTTデータ経営研究所)【P15】

札幌EMSネットワークの発足(NTTドコモ北海道)【P17】 第7回NTT-MEワールド・バード・カウント(NTT-ME)【P17】 地域通貨研修会(NTT東日本岩手支店) NPO検索データベース「NPO広場」への支援(NTTコミュニケーションズ) 第五回ドコモの森(NTTドコモ)

個人、グループに対する表彰制度を設置(NTT、NTT東日本、NTT西日本、NTTデータ)【P18】 「NTT-ATテクノフェア2001東京」の開催(NTT-AT)【P17】 第11回環境広告コンクールのポスター部門で環境大臣賞・環境広告大賞受賞(NTTドコモ東海) 「地球環境フォーラム」の開催(NTTドコモ四国、NTTドコモ、NTTドコモ中国、NTTドコモ九州)【P17】 エネルギーソリューションセミナー開催(NTTファシリティーズ) 環境goo大賞(NTT-X)【P17】

環境ウェブ

環境保護活動の全貌

エコロジープログラム

マネジメント

展開

コミュニケーション

Data File...1

Data File...2

Data File...3

Web Site Map